

▲四条大橋3 「矢野家写真資料」から

## 四 条 大 橋

この橋は、工費16,830円をかけて明治7年に完成された石柱の鉄橋です。橋の西南側から北東を望んだ写真で、橋の東側に芝居小屋が見えます。四条通りの南側には南座があり、通りを隔てて向かい側には明治26年まで北座がありました。夏の風物詩として親しまれている納涼床は、明治頃までは中洲や東岸にも設けられていて、その様子も写し出されています。

この写真は当館が所蔵している「矢野家写真資料」の中の1枚です。京都府立総合資料館所蔵資料データベース「京都北山アーカイブズ」でも今年の5月1日から公開しており、館内の端末でデジタル画像をご覧いただけます。

目次	四条大橋 .....	1
	文献課の窓から「平成の大合併－44市町村が、28市町村に－」.....	2
	歴史資料課の窓から「東寺門前の風景(3) ー東大門前の合戦ー」.....	4
	最近の収集資料から .....	6
	展覧会のお知らせ、府民講座のお知らせ、友の会事務局から 他 .....	8

# 平成の大合併 ～44市町村が、28市町村に～

近年、市町村合併が全国で進行しています。市町村合併とはいくつかの市町村が一緒になって新しい市町村を作ったり、ある市町村を他の市町村が編入（吸収）したりすることです。「平成の大合併」の市町村合併により、平成11年3月に約3,200あった全国の市町村が、平成18年3月には1,800近くにまで減りました。

京都府でも、平成16年4月1日の京丹後市の誕生を皮切りに、京北町の京都市への編入、京丹波町・南丹市の誕生、三和町・夜久野町・大江町の福知山市への編入、与謝野町の発足と市町村の合併が進みました。市町村合併の急速な進行のため、「もとの〇〇町は、今は何という自治体になったの？」と戸惑うことがしばしばあります。

さて、今回の合併が、「平成の大合併」と言われる所以は、明治時代と昭和時代にも大規模な市町村の合併が行われたところからきています。

総務省のホームページを参考にして、明治・昭和の大合併の概要をまとめてみました。

## 明治の大合併

明治期の合併は、近代的地方自治制度である「市制町村制」の施行に伴い、教育や徴税等の行政上の目的に合った規模と江戸時代から引き

継がれた町村の単位との隔たりをなくすために、約300～500戸を標準規模として全国的に行われた町村合併です。京都府では、3,298町村から280市町村になりました。

## 昭和の大合併

戦後、新制中学校の設置管理、市町村消防や自治体警察の創設等の新しい事務が市町村の事務とされ、行政事務の能率的処理のためには規模の合理化が必要とされました。昭和28年の町村合併促進法及びこれに続く昭和31年の新市町村建設促進法により、「町村数を約3分の1に減少することを目途」とする町村合併促進基本計画（昭和28年10月30日閣議決定）の達成を図ったものです。昭和28年から昭和36年までに、京都府の市町村数も149から44へとほぼ3分の1になりました。

この後、しばらく44市町村の時期が続きましたが、「平成の大合併」により、平成18年3月1日現在で、京都府内の市町村数は、28にまで減少しました。表1の「京都府内の市町村数の変遷」や表2の「市区町村の沿革」を見ると、それぞれの自治体の大きな移り変わりを感じずにはられません。

表1 京都府内の市町村数の変遷

年次	合計	内訳			備考
		市	町	村	
明治21(1888)年12月	3298		2043	1255	
明治22(1889)年4月	280	1	14	265	市制町村制施行
大正9(1920)年	270	1	22	247	
昭和15(1940)年	219	4	23	192	
昭和22(1947)年5月	214	3	25	186	地方自治法施行
昭和28(1953)年10月	149	5	25	119	町村合併促進法施行
昭和36(1961)年6月	44	7	35	2	新市町村建設促進法失効
昭和45(1970)年	44	7	36	1	
平成12(2000)年4月	44	11	32	1	地方分権一括法施行
平成16(2004)年4月	39	12	26	1	京丹後市発足
平成17(2005)年4月	38	12	25	1	京北町、京都市に編入
平成17(2005)年10月	36	12	23	1	京丹波町発足
平成18(2006)年1月	30	13	16	1	南丹市発足
平成18(2006)年3月	28	13	14	1	三和・夜久野・大江町、福知山市に編入 与謝野町発足

表2 市区町村の沿革

(平成18年3月1日現在)

市区町村	合体・編入等年月日	関係市区町村名	市区町村	合体・編入等年月日	関係市区町村名
京都府	昭22.4.1	市制施行 中川村	市	昭47.10.1	市制施行 新神足村 海印寺村 乙訓村
	昭23.4.1	編入 小野郷村 岩倉村	市	昭47.10.1	市制施行名称変更 長岡町
	昭25.12.1	編入 久我村 羽束師村 大枝村	市	昭52.11.1	市制施行 都々城村 有智郷村
	(昭30.3.1)	合体 周山町 細野村	市		
	昭30.9.1	行政区域再編 宇津村 黒田村 山国村 弓削村(京北町に)	市	昭26.4.1	編入 草内町 三山木村 普賢寺村 大住村
	昭31.9.1	政令指定都市 行政区域再編	市	平9.4.1	市制施行
	昭32.4.1	編入 淀町	市	昭25.4.1	市制施行 網野町 高津村 郷村 木津村 浜語村(網野町に)
	昭32.4.1	境界変更 京北町字広河原	市	昭26.1.1	合体 上佐濃村 下佐濃村(佐濃村設置)
	昭34.11.1	編入 大原野村	市	昭26.4.1	合体 口大野村 奥大野村 常吉村 三重村 周根村 河辺村(大宮町設置)
	昭51.10.1	行政区域再編	市	(昭26.4.1)	編入 久美谷村(久美浜町に)
北	昭30.9.1	編入 京北町	市	(昭30.1.1)	合体 峰山町 吉原村 新山村 丹波村(峰山町に)
上	明12.4.10	区設置 上京区の一部	区	(昭30.1.1)	合体 久美浜町 川上村 海部村 田村 神野村 湊村(久美浜町に)
京	昭30.9.1	区設置 上京区の一部	区	(昭30.2.1)	合体 間人町 豊栄村 竹野村 上宇川村 下宇川村(丹後町設置)
左	昭4.4.1	区設置 上京区の一部	区	(昭31.7.1)	編入 弥栄村 野間村(弥栄町設置)
中	昭4.4.1	区設置 上京区の一部	区	(昭31.9.30)	編入 長善村 大字長岡(大宮町に)
東	昭4.4.1	区設置 上京区の一部	区	(昭31.9.30)	編入 長善村 大字善王寺(大宮町に)
山	昭51.10.1	区設置 上京区の一部	区	(昭33.5.3)	編入 佐濃村(久美浜町に)
京	昭51.10.1	区設置 上京区の一部	区	平16.4.1	合体 川辺村(網野町に)
西	昭51.10.1	区設置 上京区の一部	区	昭26.4.1	編入 吉富村 富本村 新庄村(八木町に)
福	昭12.4.1	市制施行 下川口村 上島富村	市	昭26.4.1	編入 吉富村 富本村 新庄村(八木町に)
知	昭24.4.1	編入 西中筋村 河東村 有路上村 有路下村(河守町に)	市	(昭30.4.1)	編入 神吉村(八木町に)
山	(昭26.4.1)	編入 河守上村 河西村 河東村 有路上村 有路下村(河守町に)	市	(昭30.4.20)	合体 園部町 摩気村 西本梅村(園部町に)
市	(昭26.4.1)	名称変更 河守町(大江町に)	市	(昭30.4.1)	合体 世木村 五ヶ荘村 胡麻郷村(日吉町設置)
	(昭30.3.31)	合体 苑原村 細見村 川合村(三和村に)	市	(昭30.4.1)	合体 平屋村 知井村 宮島村 鶴ヶ岡村 大野村(美山町設置)
	昭30.4.1	編入 上六人部村 中六人部村 下六人部村 上川口村 三岳村 金谷村 金山村 雲原村	市	境界変更 亀岡市の一部(園部町に)	
	昭31.4.1	町制施行 三和村(三和町に)	市	平18.1.1	町制施行 八木町 日吉町 美山町
	昭31.9.30	編入 佐賀村の一部	市		
	(昭31.9.30)	合体 中夜久野村 下夜久野村(夜久野町設置)	市		
	(昭34.1.1)	合体 中夜久野村 上夜久野村(夜久野町に)	市		
	平18.1.1	編入 三和町 夜久野町 大江町	市		
舞	昭13.8.1	市制施行 舞鶴町	市	昭42.11.3	町制施行 御牧村
	(昭13.8.1)	合体 舞鶴町 新舞鶴町 倉務村 与保呂村 志染村(東舞鶴市設置)	市	昭29.10.1	合体 佐山村 多賀村
	昭18.5.27	合体 舞鶴市(舞鶴市設置)	市	昭33.4.1	編入 伊原村
	昭30.4.20	合体 岡田上村 岡田中村 岡田下村 八雲村 神崎村(加佐町設置)	市	昭31.9.30	合体 宇治田原町 宇治田原村 榎倉村
	昭32.5.27	編入 加佐町	市	昭31.8.1	合体 上須賀村 高麗村 榎倉村
綾	昭24.7.1	合体 以久田村 小瀬村(豊里村設置)	市	昭26.4.1	編入 相楽村
	昭25.8.1	合体(市制施行) 綾部町 中筋村 吉美村 山家村 西八田村 東八田村 口上林村	市	昭26.4.1	編入 当尾村 瓶原村
	昭30.4.10	編入 豊里村 物部村 志賀郷村 中上林村 奥上林村	市	昭9.1.1	町制施行
	昭31.9.30	編入 佐賀村の一部	市	昭29.12.15	合体 西和東村 中和東村 東和東村
宇	昭26.3.1	合体(市制施行) 宇治町 羅高村 小倉村 東宇治町 大久保村	市	昭31.9.30	編入 湯船村
治	(昭26.4.1)	合体 上宮津村(宮津町に)	市	昭26.4.1	合体 川西村 山田莊村
宮	昭29.6.1	合体(市制施行) 宮津町 栗田村 吉津村 府中村 日置村 世屋村 養老村 口ヶ谷村	市	昭30.4.1	町制施行
	昭31.9.20	編入 田良村	市	昭26.4.1	合体 大河原村 高山村
亀	昭30.1.1	合体(市制施行) 亀岡町 東別院村 西別院村 菅津町 宮津町 栗田村 吉津村 府中村 日置村 世屋村 養老村 口ヶ谷村	市	(昭26.4.1)	合体 竹野村(須知町に)
	昭31.9.30	編入 東本橋村	市	(昭26.4.1)	合体 柳山村 畑田村 三ノ宮村 質美村(瑞穂村設置)
	昭33.4.1	境界変更 亀岡市の一部(園部町、大坂府東能勢村に編入)	市	(昭30.4.1)	町制施行 高原村(丹波町設置)
城	昭26.4.1	合体 久津川村 寺田村 富野荘村 青谷村	市	(昭30.4.1)	合体 須知町 瑞穂村(瑞穂町に)
	昭47.5.3	市制施行	市	(昭30.4.1)	合体 上和知村 下和知村(和知町設置)

注1 市町村制施行年月日以外は、戦後に行われたものについて掲載した。  
 2 施行年月日に( )のあるものは、合併と同時にそれが行われたことを表している。  
 3 市制施行又は町制施行に( )のあるものは、現在の市町村が過去2回以上におわたって段階的に合併が行われたことを表している。  
 資料：『京都府統計書 平成16年(2004年)』の「市区町村の沿革」に加筆修正し、作成した。

# 東寺門前の風景（3） — 東大門前の合戦 —

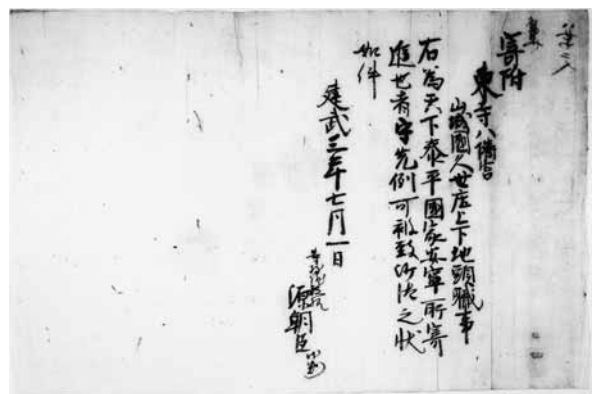
その時の様子を『<sup>ちょうこぎっしょう</sup>徴古雑抄』所収の東寺の寺伝『<sup>とうぼうき</sup>東宝記』は、「六月晦日、鎮守八幡宮神殿より流鏑を敵陣に飛ばすの間、雲霞の軍兵忽ちに破る、天下静謐に属すの間、山城国久世上下庄を以て、永代堂社に寄附、」と鎮守八幡の加護によって尊氏が勝利したと伝えています。

建武3(1336)年6月30日、東寺の東大門前で足利尊氏軍と後醍醐天皇軍の合戦がありました。

尊氏は、この年の正月の洛中合戦で、一度は後醍醐軍に敗れ、九州に落ちて行きました。早くも4月には軍勢を建て直し、東上の途につきました。5月25日には摂津国湊川(神戸市)の戦いで勝利し、楠木正成を戦死させました。

6月14日には、光厳上皇を奉じて入京し、20日に東寺を本陣にしました。戦争は足利方が有利に進めていましたが、洛中や比叡山では激戦が行われていました。

6月30日、後醍醐軍は、新田義貞を総大将として大反撃に出ました。洛中の各所で激戦となりました。義貞の軍勢は激しく戦い、尊氏方の仁木・細川・今川・土岐などの諸勢を蹴散らし、大宮通りに沿って本陣のある東寺の東大門まで押し寄せました。苦境に立った尊氏は、堅く門を閉ざし防戦しました。しばらくして土岐頼遠の軍勢が駆けつけ、尊氏は窮地を脱しました。



▲写真2 足利尊氏寄進状案

写真2は、同年7月1日、尊氏が「天下泰平、<sup>くぜのしょう</sup>国家安寧」を祈って山城国久世<sup>じとうしき</sup>庄上下地頭職を東寺鎮守八幡宮に寄附した寄進状です。この時点では、両軍は合戦の最中であり、尊氏の祈願の趣旨には戦勝の意味が込められていたものと思われる。

この久世上下庄は、京都の近郊、桂川西岸、



▲写真3 東寺八幡宮供僧等申状



国道171号線が桂川を渡った付近に位置しています。石高は上久世荘が約230石、下久世荘は約60石で、これ以降、東寺の寺院経済を支える中心的な荘園の一つとなり、天正年間(1573～92)まで存続が確認されます。

この戦闘で尊氏が勝利したことは、政権奪取へ向けて大きな前進であり、東寺にとっても、荘園の寄進を受けた以外にさらに大きなものがありました。

写真3は、応永7(1400)年11月、東寺八幡宮供僧等が、久世上下荘に対する山城守護結城満藤の違乱停止を幕府に請うたものです。この中で東寺は「右当庄は、建武御佳運の時、神箭の嘉瑞、天下御静謐の最初、当庄を以て寄附せらる、」と、尊氏の武運は鎮守八幡宮の加護であること、さらに室町幕府創設の転機として東寺との結びつきを強調しています。このような論理はこの文書に限らず随所に見られ、争論などでは、自己の主張を有利に導くことに利用されました。



▲写真4 東寺雑掌申状案

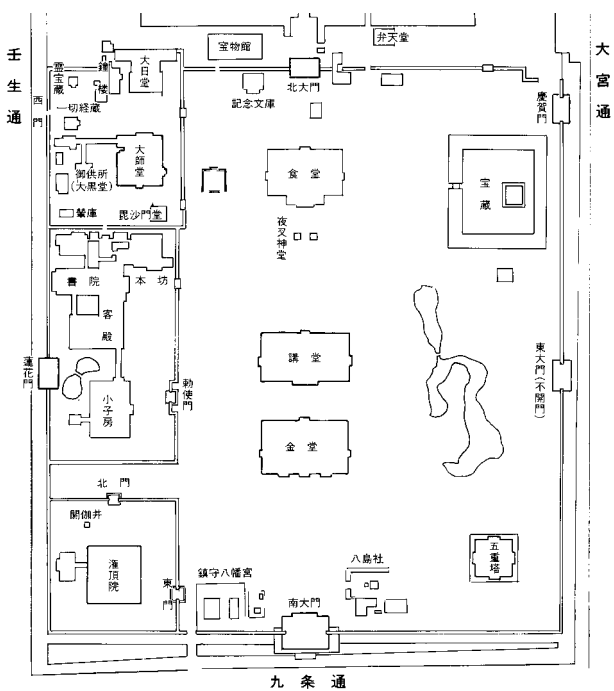
写真4は、天文14(1545)年8月朔日、東寺が一円に支配すべき久世荘の内、公文分が武家領に混じってしまったので、返還のために幕府に披露を請うたものです。この中でも写真3の文書と同様に「等持院殿(足利尊氏)が当寺に御在陣の時、神前において御立願あるによって、

御宝殿より鏑箭鳴り出し、忽ち御敵悉く以て敗北せしめ訖んぬ、名詮について彼庄の御寄附これ在り、」と幕府との関係が強調されています。この主張は戦国時代まで使われ、東寺が幕府の保護を得る大きな根拠になっていたのです。

この東大門は別称として「<sup>あかずのもん</sup>不開門」とも「矢の根門」とも呼ばれています。その名称の由来は、この合戦まで遡ります。

攻め込まれた尊氏勢が義貞勢の攻撃を防ぐために、東大門を閉ざし、激しく応戦したため「<sup>あかずのもん</sup>不開門」と呼ばれるようになり、この戦いで多数の矢が門に刺さったため「矢の根門」と呼ばれるようになったと言われています。

東寺東大門の門前での合戦は、その後の後醍醐天皇、足利尊氏、東寺に大きな影響を与えました。その一端を伝える門は、今も閉じられたままで、多数の矢傷の跡が当時を偲ばせてくれます。



▲写真5 東寺境内図  
(東寺宝物館『東寺の建造物』(平成7年)から転載)



## 最近の収集資料から(平成18年3月～5月)



### ◆図書資料

#### 〈京都〉

京都府E L 新聞記事情報リスト 2005-1・  
2005-2 エレクトロニック・ライブラリー編刊  
2006 2冊

日吉町誌 平成版 日吉町誌編さん委員会編  
日吉町 2005 472p 図版16p 寄贈

京都乙訓・西岡の戦国時代と物集女城 中井均  
編著 文理閣 2005 198p

中世京都首都論 大村拓生著 吉川弘文館  
2006 6, 332, 11p

京女の人生作法 服部和子著 講談社 2005  
238p

京都の地名由来辞典 源城政好編 東京堂出版  
2005 4, 235p

京都人の商法 <伝統>と<革新>を両立させるビ  
ジネス感覚に学ぶ 蒲田春樹著 サンマーク出  
版 2006 222p

精華百年史 精華百年史編纂委員会編 京都精  
華女子中学高等学校 2005 668p 図版48p  
寄贈

上がる下がる 京のわらべうた 吉川蕉仙著  
二玄社 2005 122p

京都迎賓館 ものづくり ものがたり 公共建  
築協会企画・編集 日刊建設通信新聞社 2005  
198p

危機来襲 鳥インフルエンザ・48日間の攻防  
山田啓二編著 京都新聞出版センター 2005  
221p

京繡技法集 京都刺繡協同組合編刊 2005  
85p 寄贈

京都競馬場80年史 日本中央競馬会京都競馬場  
2005 183p

大日本武徳会研究資料集成 第1～5巻 全日

本剣道連盟監修 本の友社 2005 5冊

芭蕉と京都俳壇 薫風胎動の延宝・天和期を考え  
る 佐藤勝明著 八木書店 2006 8, 331, 21p

#### 〈人文〉

近世書籍文化論 史料論的アプローチ 藤實久  
美子著 吉川弘文館 2006 8, 326p

近世蔵版目録集成 往来物編第1～3輯・索引  
小泉吉永編 岩田書院 2005-2006 4冊(岩田  
書院影印叢刊 4～6)

寝殿造の空間と儀式 川本重雄著 中央公論美  
術出版 2005 408p

平安時代文学美術語彙集成 本文編・索引編  
平安時代文学美術研究会編 笠間書院 2005  
2冊

熊野懐紙 霞会館公家と武家文化調査委員会編  
霞会館 2006 3, 35枚 寄贈

弘法大師空海の研究 武内孝善著 吉川弘文館  
2006 8, 577, 20p

郷土史大辞典 上・下 歴史学会編 朝倉書店  
2005 2冊

近代日中関係史年表 1799-1949 近代日中関係  
史年表編集委員会編 岩波書店 2006 6, 809p

一豊と秀吉が駆けた時代 夫人が支えた戦国史  
長浜城歴史博物館企画・編集 2005 143p 寄  
贈

近世藩制・藩校大事典 大石学編 吉川弘文館  
2006 20, 1048, 97p

年表太平洋戦争全史 日置英剛編 国書刊行会  
2005 836, 98p

芸術学の視座 真保亨先生古稀記念論文集 真  
保亨先生古稀記念論文集編集委員会編 勉誠出  
版 2002 510p

横浜トリエンナーレ2005 横浜トリエンナーレ

事務局編 横浜トリエンナーレ組織委員会  
2005 229p 寄贈

国宝燕子花図屏風 保存修理竣工記念 根津美術館編刊 2005 152, 67p 寄贈

プーシキン美術館展 シチューキン・モロゾフ・コレクション 三浦篤監修 朝日新聞社  
2005 199p 寄贈

現代写真人名事典 東京都写真美術館監修 日外アソシエーツ 2005 593p

安井仲治写真作品集 安井仲治著 国書刊行会  
2005 55枚 (日本写真史の至宝)

#### 〈官庁〉

京都府民経済計算 平成15年度 京都府総務部統計課編刊 2006 141p

京都府統計書 平成16年(2004年) 京都府総務部統計課編刊 2006 390p

京都府の工業 平成16年 京都府総務部統計課編刊 2006 3, 120p

環境白書 平成17年度版 京都府企画環境部環境政策室編刊 2006 227p

園芸作物統計 野菜・果樹・茶・花き 平成16年産 近畿農政局統計部編刊 2005 91p 寄贈

国勢調査による町別人口 平成17年国勢調査結果(概数值) 京都市総合企画局情報化推進室情報統計課刊 2006 72p 寄贈

京町家まちづくり調査 調査報告書 平成15年度 京都市都市計画局[編]刊 2004 77p 寄贈

あやべ統計書 平成16年版 綾部市総務部総務課編刊 2005 114p 寄贈

國の予算 平成17年度 財政調査会編纂 大蔵財務協会 2006 1015p

地方財政要覧 平成17年12月 地方財務協会  
2006 4, 399p

高年齢者就業実態調査報告 平成16年 厚生労働省大臣官房統計情報部編刊 2006 169p 寄贈

労使関係総合調査 労使コミュニケーション調査報告 平成16年 厚生労働省大臣官房統計情報部編刊 2006 116p 寄贈

男女共同参画基本計画 第2次 [内閣府男女共同参画局編刊] 2005 134p 寄贈

社会福祉行政業務報告 福祉行政報告例 平成16年度 厚生労働省大臣官房統計情報部編刊 2006 592p

食糧統計年報 平成16年版 農林水産省総合食料局[編]刊 2006 139p 寄贈

漁業センサス 第11次(2003年) 総括編 農林水産省大臣官房統計部編刊 2006 276p 寄贈

道路行政 平成17年度 道路行政研究会編 全国道路利用者会議 2006 859p

国語に関する世論調査 平成16年度 敬語・漢字・言葉の使い方 文化庁文化部国語課[編] 国立印刷局 2005 99p

#### ◆文書資料(新しく公開する資料)

郷土相続願書 葛野郡御所内村(現下京区)に居住していた侍身分の郷土が身分を相続するための安政4(1857)年の願書。1点。

口宣案 地下官人三善家当主に対して出された叙任の口宣案。寛政12(1800)年ほか。5点。

淀町奉行日記(竹林家文書) 淀藩の町奉行の文化8(1811)年9月~同9年3月の勤方日記。マイクロ収集。

田辺(舞鶴)城絵図 元禄5(1692)年2月田辺城の石垣修復のために藩主牧野富成から幕府に提出された絵図の控。舞鶴市所蔵。写真版収集。

丹波国天田郡福知山故城之図 元福知山藩士である三岳瀬徳全(用瀬徳全)が明治29年に作成した福知山城図。京都府立福知山高等学校所蔵。写真版収集。

## 展覧会開催のお知らせ

当館では、8月から年内にかけて、次のとおり展覧会を開催する予定です。

会場は、いずれも2階展示室で、入場無料です。是非ご観覧ください。

### □収蔵品展

普段ご覧いただく機会が少ない館の収蔵品を展示公開します。

会期 8月11日(金)～9月12日(火)

内容 ・館蔵資料で確かめる京都検定  
(図書資料)

- ・京都大工頭中井家文書 (古文書)
- ・琵琶湖疏水の建設 (行政文書)
- ・黒川翠山撮影写真資料 (写真資料)
- ・天眼文庫関係資料 (近代文学資料)

### □第21回東寺百合文書展「奉書と直状」

会期 9月30日(土)～10月31日(火)

(10月9日(月)、11日(水)は休館)

## 総合資料館府民講座のお知らせ

◆9月15日(金) 午後2時～

大塚活美(当館職員)

演題「京の祭り(仮題)」

受講ご希望の方は、受講希望日、住所、氏名、電話番号を明記し、はがき、FAX又はメールでお申し込みください。

\*満席で受講をお断りする場合のみ連絡します。

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4

京都府立総合資料館 庶務課

TEL 075-723-4831 FAX 075-791-9466

メール shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp

## 友の会事務局から

◎平成18年度の友の会会員は、5月10日現在で328人です。

性別	継続	新規	計
男性	167人(50.9%)	28人(8.5%)	195人(59.5%)
女性	120人(36.6%)	13人(4.0%)	133人(40.5%)
計	287人(87.5%)	41人(12.5%)	328人(100%)

◎平成18年度の役員会を、5月17日(水)に開催しました。この役員会で、平成18年度の事業計画が、次のとおり決定されました。

- ・現地講座(春期)
- ・見学会(秋期)
- ・総合資料館府民講座(総合資料館と共催)
- ・「東寺百合文書展」及び企画展の列品解説
- ・古文書解読講座の案内及びテキスト送料の補助
- ・「総合資料館だより」の頒布(年4回)
- ・京都文化博物館及び池大雅美術館の入館料割引

◎7月16日(日)に、金剛能楽堂(京都市上京区)において現地講座を実施する予定です。

◎随時入会の申込みを受け付けています。

問合せ先：友の会事務局

(当館庶務課内 TEL 075-723-4831)

## 日誌(平成18年3月～5月)

- 3.1(水) 天眠文庫関係資料の一部公開
- 3.4(土)～4.9(日) 企画展「京都府域の藩」開催
- 3.16(木) 府民講座(第31回)
- 3.22(水) 府民講座(第32回)
- 3.30(木) 府民講座(第33回)
- 4.14(金) 府民講座(第34回)
- 5.1(月) 「所蔵資料データベース—京都北山アーカイブズ—」公開資料追加
- 5.15(月)～26(金) 所蔵資料点検・整理等のため臨時休館

## 利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、毎月第2水曜日、資料整理期、年末年始(12月28日～1月4日)

### 【7月～9月の休館日】

7月12日(水)、7月17日(祝)、8月9日(水)、9月13日(水)、9月18日(祝)、9月23日(祝)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市地下鉄烏丸線・北山駅下車  
市バス④(北⑧)北山駅前下車  
京都バス⑳④⑤⑥前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

発行 京都府立総合資料館

京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991)

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4

TEL(075)723-4831 FAX(075)791-9466

○本誌に関するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています